報道関係者各位

2026年11月19日
発行 No.263

Press Release

Gunosy

統合報告書の英語版を早期公開へ。
「IR Hub統合報告書」を提供開始

～確定した章からPDFをAIで順次翻訳。並行作業で外注コストも削減～

株式会社Gunosy（本社：東京都港区、代表取締役社長：西尾健太郎、以下「Gunosy」）は、開示業務支援クラウドサービス「IR Hub（アイアールハブ）」において、統合報告書の英訳を自社で行える新サービス「IR Hub統合報告書」を2026年11月28日より提供開始いたします。

本サービスでは、統合報告書のPDFをアップロードするだけで英訳できます。原稿が揃った章から英訳を始めることができ、日本語の修正が入っても、変更された箇所のみを自社ですぐに訳し直すことが可能です。これまで外部に依頼していた業務を自社で補えることで、英訳費用を大幅に抑えながら、日本語版と英語版の公開時期の差を縮めます。



開発背景

2025年4月からプライム市場で決算情報・適時開示情報の英文開示が義務化されるなど、上場企業において英文での情報発信の重要性が高まっており、任意開示である統合報告書においても、英語版を早く公開したいというニーズが高まっています。当社はこれまで「IR Hub」を通じて、決算短信や決算説明資料の英訳を支援してまいりました。その中で、統合報告書の英訳を外注されている企業様から「日本語の修正箇所を管理し、そのたびに翻訳会社へ依頼し直すのが負担」「今の進め方では、日英同時公開は現実的ではない」といった声をいただいておりました。

統合報告書は複数の部署が関わり文章量も多いため、制作の終盤まで日本語の修正が続くことから、英訳は日本語版の文章が確定してからの着手となるケースが多く、英語版の公開が日本語版より遅れる要因のひとつとなっています。また、統合報告書の英訳は外部に依頼することも多いため費用の高額化や、用語や表現が揃いにくいことも課題となっています。

これらの課題を解消するため、労力とコストを抑えて英訳を進められる「IR Hub統合報告書」を開発いたしました。

「IR Hub統合報告書」の特長

1. 【章ごとに英訳】原稿が揃った章から英訳を始め、英語版の公開を早められる

章ごとにPDFをアップロードすると、AIが英訳します。日本語版の完成を待たずに英訳を進められるため、英語版の公開を早めることが可能です。

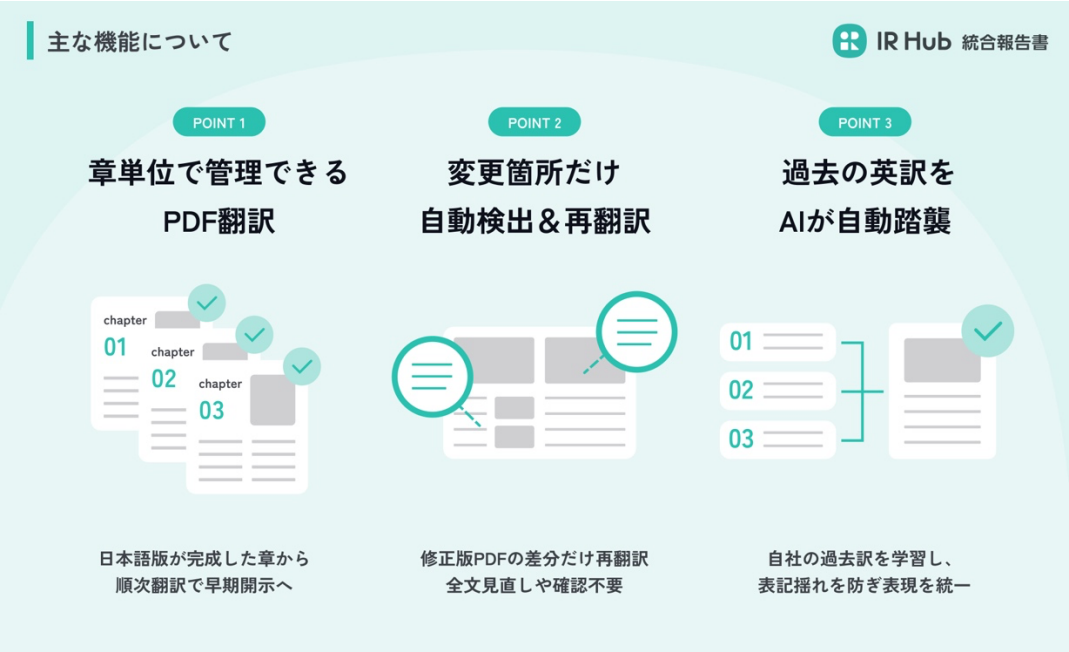
2. 【更新箇所のみ再翻訳】日本語が修正・変更された箇所だけ訳し直し、全文を見直す手間をなくす

日本語を修正した新しいPDFで上書きすると、前回との差分を検出し、変更箇所だけを訳し直します。上書きしても、変更のない箇所は社内で校正した英訳がそのまま残ります。修正のたびに全文を見直す必要も、外部に英訳を依頼し直す必要もなくなります。

3. 【過去の英訳を踏襲】自社の過去訳を参照し、毎年の用語・言い回しを揃える

過去の統合報告書の日本語版・英語版をアップロードすることで、訳し方のトーン・マナーを参照して英訳します。お使いいただき始めたその年から、これまでの用語や言い回しを揃えられます。

「IR Hub統合報告書」では、日英対訳リストを自動生成できるため、デザインや組版の外部委託体制を維持したまま、英訳プロセスだけを社内で完結し、英訳費の削減と発行スケジュールの前倒しを実現します。今後は、英文の文字数の変化の表示や制作会社に共有できる変更箇所の一覧など、制作会社とのやり取りをスムーズにする機能を追加予定です。



※表示されている画面・デザインは開発中のイメージです。機能向上のため予告なく変更される可能性があります。

提供価格について

数百万円かかることもある従来の英訳外注費に比べ、大幅にコストを抑えられる見込みです。詳細な料金プランにつきましては、下記お問い合わせ窓口よりお気軽にご相談ください。

WEBサイト：https://irhub.jp/

メール：irhub@gunosy.com（IR Hubサポートチーム 対応時間：平日9:00～17:00）

無料オンラインイベントのお知らせ



「IR Hub統合報告書」の提供開始にあわせ、統合報告書の英語版の公開時期に関する実態調査の結果をお伝えする無料オンラインセミナーを開催します。

セミナー名
統合報告書「英語版の遅れ」実態調査2026
～日本語版の公開から、何か月後の開示が一般的？ 英文開示のリードタイムを縮める鍵は？～

概要
統合報告書の英語版は、日本語版の公開からどれくらい遅れて出ているのか。上場企業の公開情報をもとに調べた結果をお伝えするとともに、遅れを生む原因と、英文開示のリードタイムを縮める英訳の進め方をご紹介します。

開催概要
- 日時：2026年12月10日（木）12:00～13:00
- 形式：オンライン（Zoomウェビナー 予定）
- 参加費：無料
- 定員：先着50名
- 対象：統合報告書の制作・英訳に携わる上場企業のご担当者さま
- 申し込み：https://irhub.jp/event202611（申し込み締め切り：12月8日（火）24:00）

※同業他社の方のご参加は、お断りする場合があります。
※内容は変更となる場合があります。

IR Hubとは

決算説明資料・統合報告書の英訳、適時開示文書の日英作成、IR面談の管理・分析をAIの力でサポートする、開示業務支援クラウドです。2025年3月の正式リリース以降、「決算情報・適時開示情報の英文開示の義務化」が課されたプライム市場のみならず、義務化拡大を見据えたスタンダード・グロース市場の上場企業や、海外投資家への情報提供を強化したい企業様からも多数導入いただき、高いご評価をいただいています。

詳しくはこちらをご覧ください。
https://irhub.jp/

導入実績

IR Hubは、2025年3月の製品版提供以降、（株）ハウテレビジョン、（株）デジタルホールディングス、（株）クロス・マーケティング、（株）ココナラ、ユナイテッド（株）、（株）gumi、ジーイエット（株）、（株）エル・ティー・エス、（株）Liberaware、（株）エアトリ、（株）バイタルケーエスケー・ホールディングス他、大手銀行・不動産業など様々な業種の上場企業にて、多数ご導入いただいています。　＊順不同

ご関心をお持ちの企業様は、下記よりご連絡をお待ちしております。
https://irhub.jp/

■Gunosy 会社概要

Gunosyは「情報を世界中の人に最適に届ける」を企業理念に掲げ、情報キュレーションアプリ「グノシー」などのメディアの提供をしています。また、ニュース配信アプリ「ニュースライト」の運営や、KDDI株式会社とポータルアプリ「auサービスToday」の開発・運営を行っています。これらのメディア事業のほか、「GunosyAds」などのアドテク事業も展開しています。さらに、開示業務支援クラウドサービス「IR Hub」、メディア企業向けAI導入支援サービス「Media AI Partnership」、実務定着型コーポレート支援サービス「CORPATH」などのBtoB事業を展開しています。

会社名：株式会社Gunosy

所在地：東京都港区赤坂2-4-6 赤坂グリーンクロス6階

企業理念：「情報を世界中の人に最適に届ける」

事業内容：情報キュレーションサービスその他メディア開発及び運営

提供サービス：グノシー、ニュースライト、auサービスToday、IR Hub、Media AI Partnership、CORPATH

URL：https://gunosy.co.jp/

【本件に関するお問合せ先】

株式会社Gunosy 広報担当　E-MAIL：pr@gunosy.com